

平成十二年度入試報告

進路指導部

平成十二年度入試では、東大三名(新卒二十名)、筑波大五二名(新卒四二名)が合格しました。東大は二年連続で三十の大台に乗せ、全国公立高中第二位であり、筑波大は全国第一位を堅持しました。筑波大医学専門学群に七名(新卒四名)、東工大十八名(新卒十三名)、東北大二十四名(新卒十五名)の合格を出したことは、本校生の難関大志向に道筋を開くものとして賞賛に値します。

私大では慶応大が六九名(新卒三八名)、早稲田大八四名(新卒四三名)、上智大三二名(新卒一八名)、東京理大一〇一名(新卒五一名)の合格者を出し大健闘しました。

国立大合格者の総数では一八九名(新卒一一九名)に止まりましたが、内容的に大変充実した数字であると言えます。公立大・私立大等を加えた合格者総数は八二五名(新卒四四五名)で、五月現在新卒者の四年制大学進学者数は、前年比七名増の二〇九名となっております。再受験の道を選んだ者は一五一名となります。

ここ数年の難関大学志向は今年も一層顕著で、新卒生の合格国立大学数も減少をもたらしています。昨年の二一大学から一六大学に減少しました。横浜国大・千葉大・埼玉大・茨城大・群馬大・宇都宮大などの受験数が減ったのははじめ、医学部を除くと全国各地

の国立大を受験しなくなったことが原因です。

また、昨年・今年と再受験の道を選ぶ者が増える傾向にあり、動向が注目されます。因に、昨年再受験を選んだ一五三名のうち一三一名が進学しました。内訳は東大十一名、国立大医学部十名、筑波大九名、東北大一名、東工大四名、一橋大一名、お茶の水大二名、京都大三名、早稲田大一名、慶応大一二名、上智大四名という数で大変な盛況です。

こうした状況下で、第一志望の難関大への現役合格をめざすのは勿論ですが、浪人しても第一志望を貫徹するという構えをとる本校生が増えてきていることは否めません。

本校の進学指導は現役合格優先主義で進んできました。三年間で希望の難関大学へ入れる所まで学力を高めて行く所に目標を置いていました。(勿論、入れる大学へなりふり構わず入れるような指導とは一線を画しています。)東大をはじめとする主要大学の合格者の現役占有率が高いのはそのためでした。もし現役合格率がさらに下降した場合、本校の進学指導が活力を失うことが懸念されます。浪人生の実績は並々ならぬ奮闘の賜ですが、在学時に培った高い基礎力あつてのことであることを現役生は肝に銘じて置く必要があると思います。

平成12年度入試合格状況

国公立大学

私立大学

Table with 4 columns: University Name, Qualified, New Graduates. Lists 20 universities including Hokkaido, Tohoku, Aichi, Tsukuba, Chiba, etc.

Table with 4 columns: University Name, Qualified, New Graduates. Lists 20 universities including Kanazawa, Yamanashi Medical, Shinshu, Osaka, etc.

Table with 4 columns: University Name, Qualified, New Graduates. Lists 20 private universities including Aoyama Gakuin, Gakushuin, Keio, etc.